

# モンゴル経済概況

---

(2017年1～6月)

2017年10月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

## 【免責条項】

本資料で提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本資料で提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

**禁無断転載**

# 目次

---

1. モンゴルの基礎データ
2. 最近の政治動向①
2. 最近の政治動向②
3. GDP成長率の推移
4. 対外貿易の推移
5. 名目工業生産の伸び率
6. 貨物輸送量
7. 物価(CPI)
8. 歳入・歳出伸び率の推移
9. 貸出残高
10. M2の推移
11. 対ドル・対円の為替レート
12. 外貨準備高
13. 主要輸出入品目
14. 主要輸出相手国
15. 主要輸入相手国
16. 主要国・直接投資残高
17. 主要国・地域別投資企業数
18. 主要業種別投資企業数
19. 日系企業進出事例
20. モンゴル企業の動向事例①
20. モンゴル企業の動向事例②
21. 日本からの直接投資
22. 日本との貿易概況

# 1. モンゴルの基礎データ

---

国名：モンゴル国

面積：156万6,600平方キロメートル

人口：311万9,935人(2017年8月31日現在)

首都：ウランバートル

民族：モンゴル人（全体の95%）およびカザフ人等

言語：モンゴル語（公用語）、カザフ語

宗教：チベット仏教等（1992年2月の新憲法は信教の自由を保障）

政体：共和制（大統領制と議院内閣制の併用）

行政区分：21県、15省

通貨：トゥグルク（100トゥグルク=約4.59円）（2017年6月4日現在）

## 2.最近の政治動向①

---

・5月25日、国際通貨基金(IMF)理事会は、モンゴルの経済改革を支援するため、同国向け3億1450万5000SDR(約4億3430万米ドル)の新規3年間の拡大信用供与措置(EFF)を承認した。アジア開発銀行、世界銀行、日本および韓国など他の融資パートナーも予算およびプロジェクトの支援を供与することを誓約し、中国人民銀行はモンゴル銀行とのスワップラインを延長することに合意した。これらを合計すると、総融資パッケージは約55億ドルに達する。この理事会承認により、2795万6000SDR(約3860万米ドル)相当の資金が直ちに供与されることが可能となった。

・2017年6月26日、モンゴルの大統領選挙が行われた。今回の選挙では、2016年6月の総選挙で29議席を失い政権から退いた民主党の元食糧大臣バートルガ氏、同選挙で65議席を取得した与党人民党の現国会議長・党首エンフボルド氏、1議席をもつ革命党元労働国民党首のガンバートル氏の3候補の接戦となった。バートルガ氏が首位(得票率38.1%)となったが過半数に達しなかったため、2位(エンフボルド氏)との決選投票を7月7日に実施した。決選投票の結果、最大野党・民主党のバートルガ氏が当選(得票率50.6%)した。

## 2.最近の政治動向②

---

・2017年7月10日、バートルガ氏が大統領に就任した。新大統領は、元議長・元民主党首エンフボルド氏を官房長官として任命し、翌日の7月11日に国民的なスポーツの祭典「ナーダム」を開会した。その後、7月24日に政治家・国家公務員に対して汚職・違法政治によって得られた資産をオフショア口座からモンゴル国内に戻すよう呼びかけ、49日間の期限を設定した。背景には、IMFがオフショア領域とみなした42の国・地域・国にモンゴルから49名の口座が登録されているとパナマ文書で報道されていたことがある。

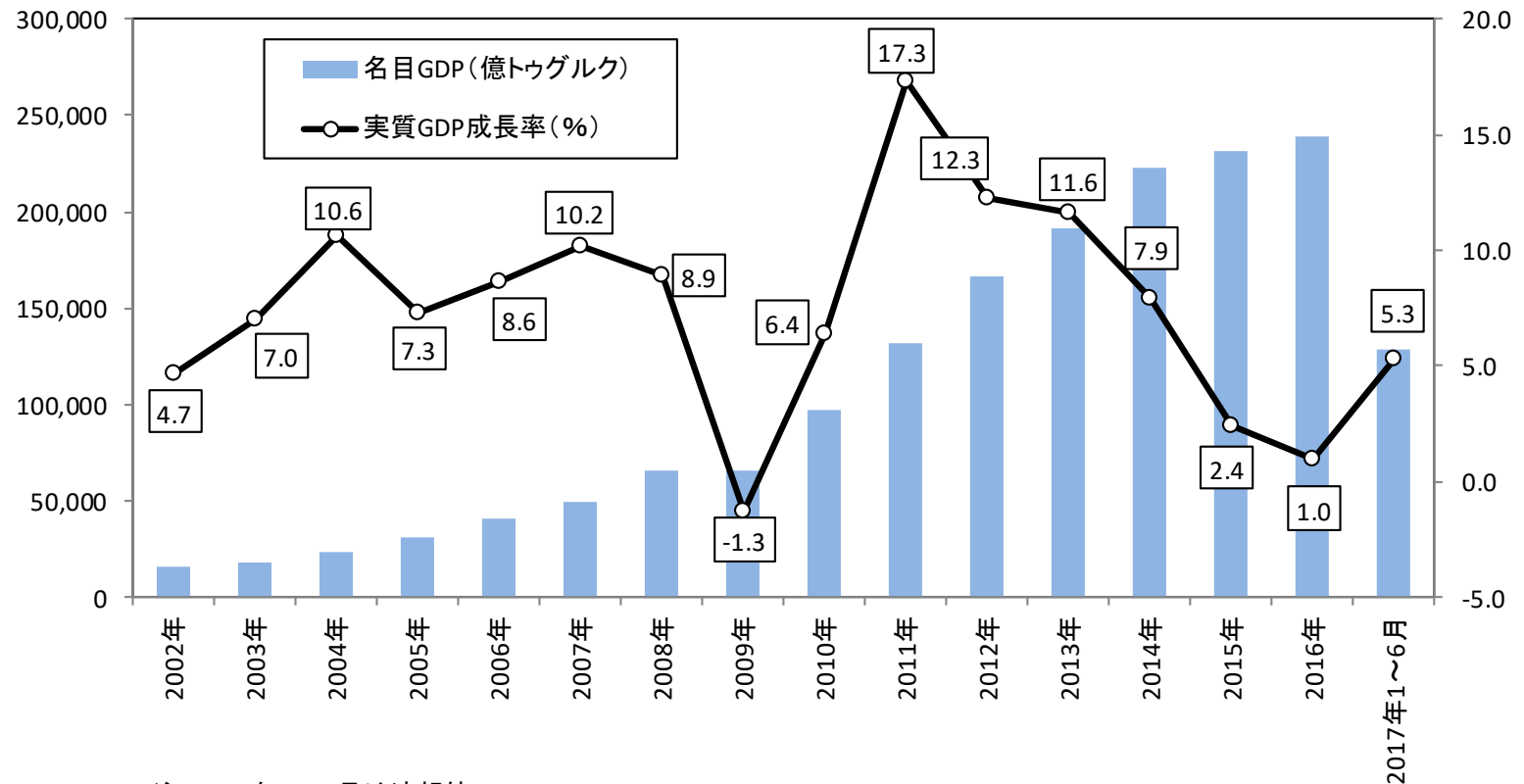
・2017年7月19日から8月2日にかけて、IMFによる拡大信用供与措置(EFF)に基づきモンゴル政府が実施する取組について、第1回の定量的な指標にもとづく政策評価が行われた。IMF作業部会のコシー・マタイ代表によると、モンゴルの経済は順調に回復しており、EFF措置の定量的な数値目標も全て達成していると評価された。また、石炭の生産と輸出が回復し、民間投資が好調であることなどから2017年の通年のGDP成長率は2%に達するとの見通しを示した。なお、2017年1～6月における実質GDP成長率は5.3%だった。

# 3.GDP成長率の推移

2017年1～6月における実質GDP成長率は5.3%で、前年同年比4.3ポイント加速した。  
名目GDPは12兆8,012億トウグルクだった。

(億トウグルク)

(%)

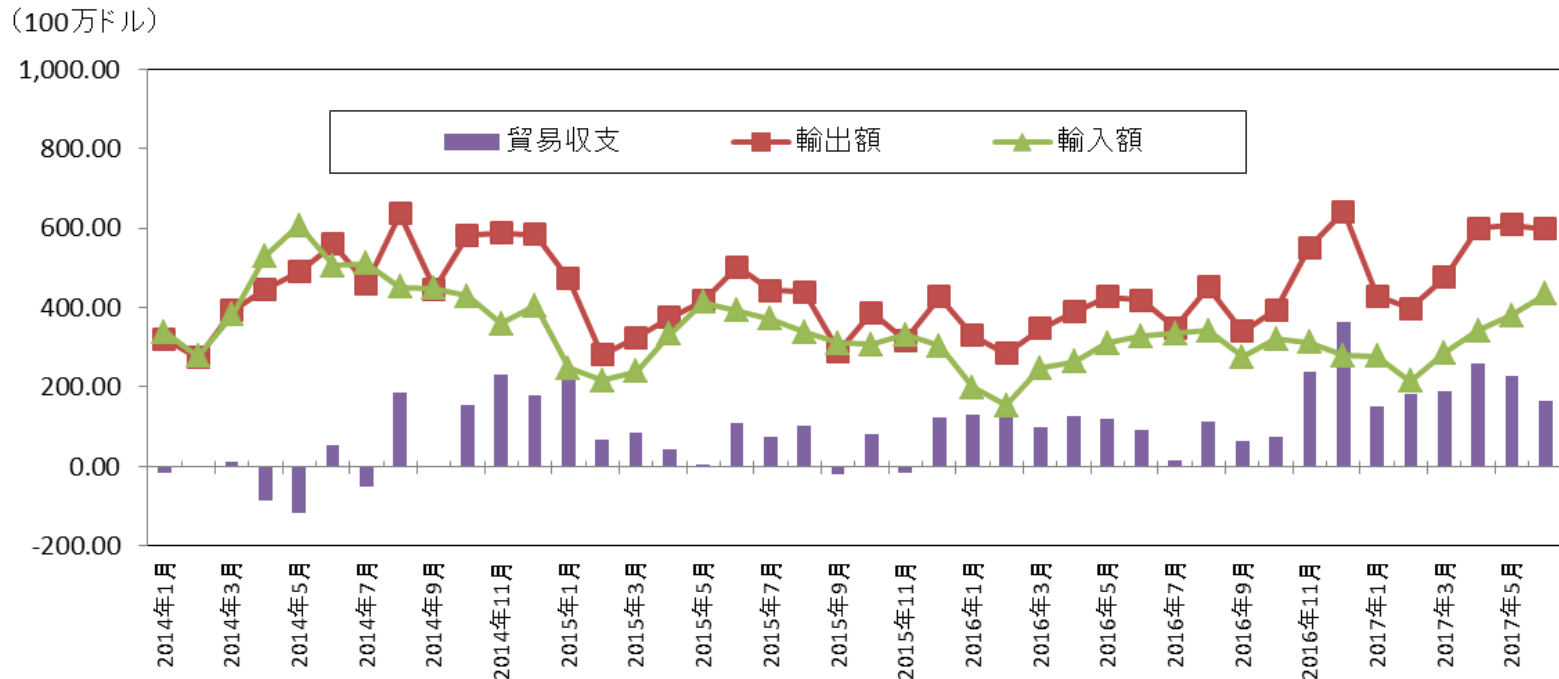


注: 2017年1～6月は速報値

出所: 国家統計局

# 4. 対外貿易の推移

2017年1～6月における貿易総額は、前年同期比13億4,440万ドル(36.4%)増の50億3,640万ドルに達した。貿易総額のうち、輸出額は41.7%増の31億580万ドル、輸入額は28.8%増の19億3,060万ドルとなった。



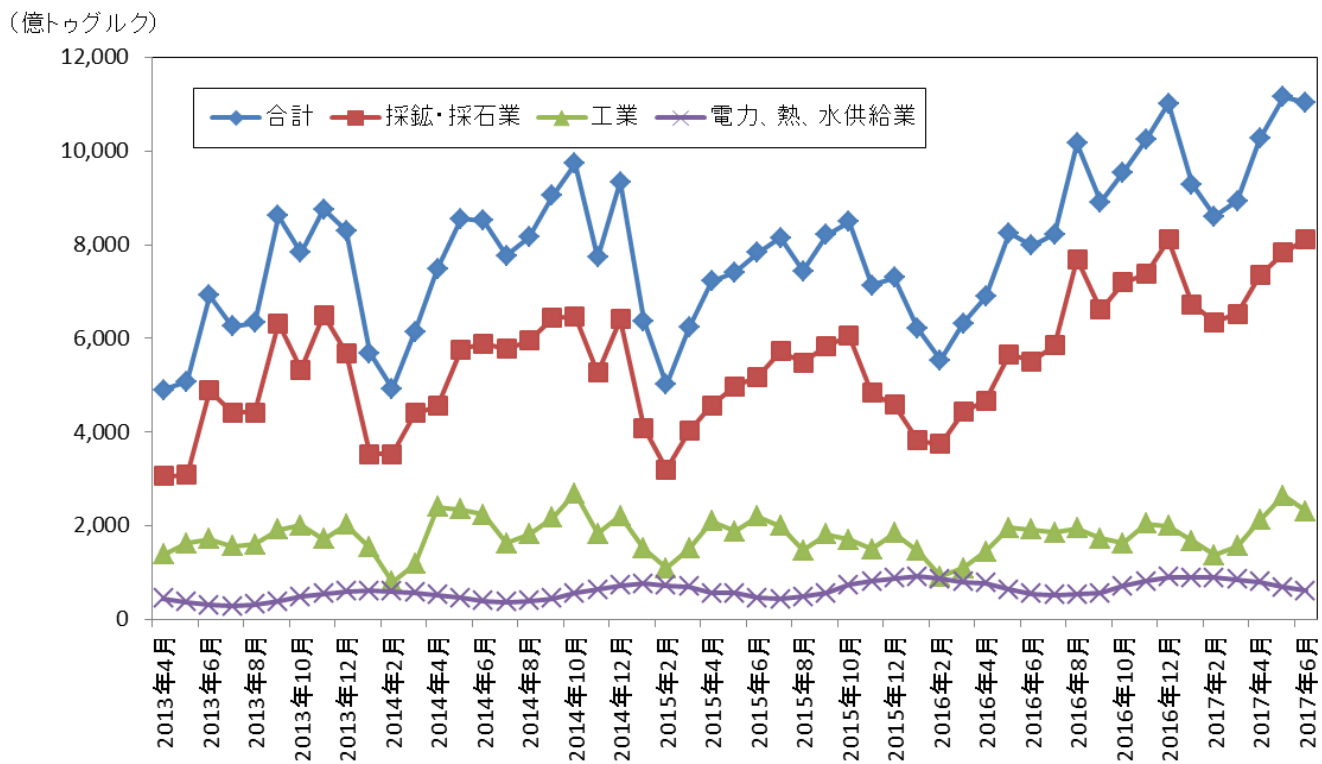
出所: 国家統計局

注: 2017年1～6月は速報値



# 5. 名目鉱工業生産の伸び率

2017年1～6月における鉱工業生産は、前年同期比43.9%増の5兆9,000億トウグルクとなった。増加の要因は、主に鉱工業生産の70%以上を占める鉱山業の生産が53.9%増(1兆5,000億トウグルク増)となったことによる。

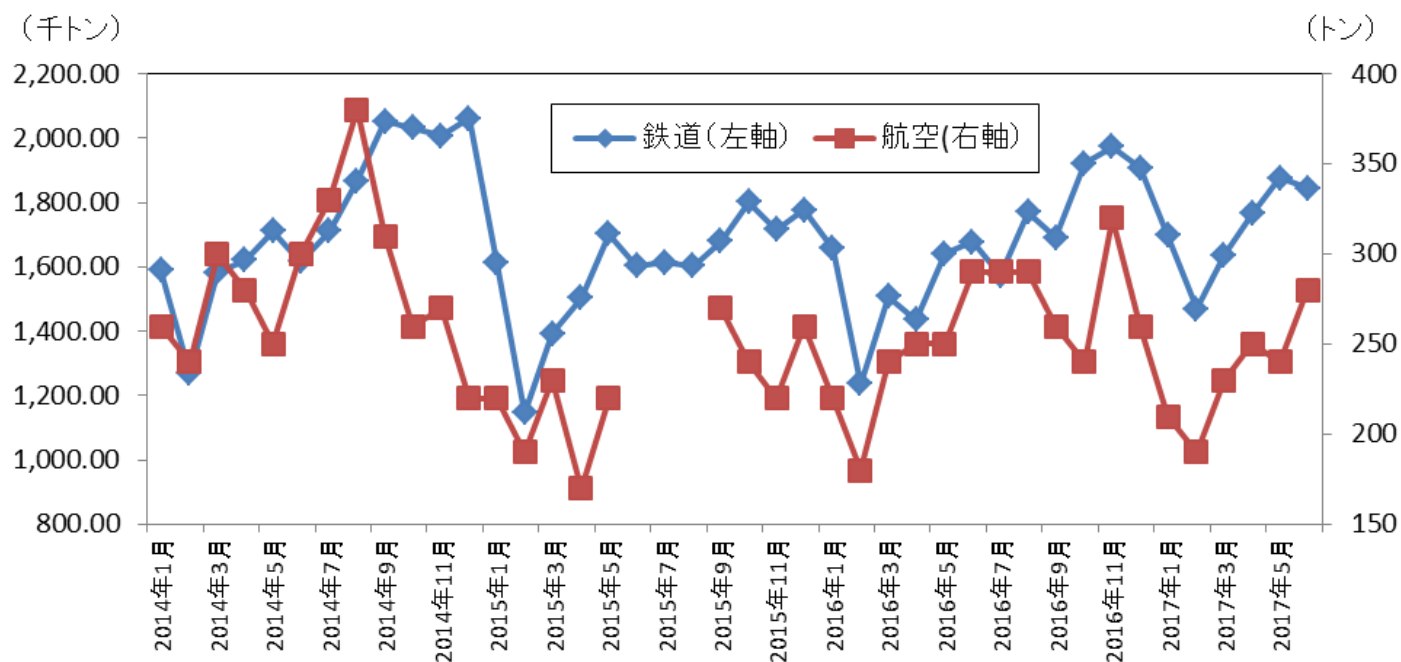


出所: 国家統計局

注: 2017年1～6月は速報値

# 6.貨物輸送量

2017年1～6月における鉄道輸送量は、前年同期比12.2%増の1,030万トンに達した。  
航空輸送量は、前年同期比2.0%減の1,403トンだった。

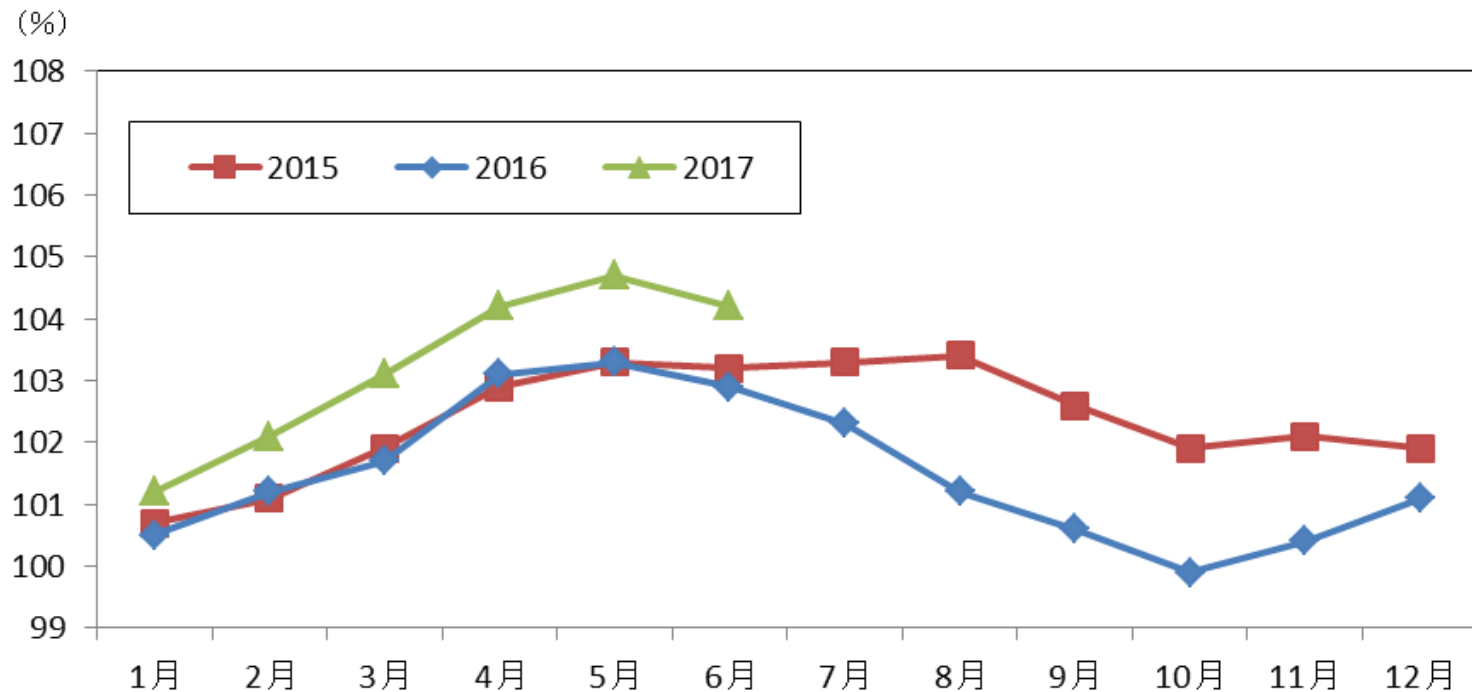


出所: 国家統計局

注: 2017年1～6月は速報値

# 7.物価(CPI)

2017年6月のCPI(全国)は前年同月比3.3%上昇した。上昇の主な要因は交通(10.3%)、衣類(2.7%)の価格上昇であった。

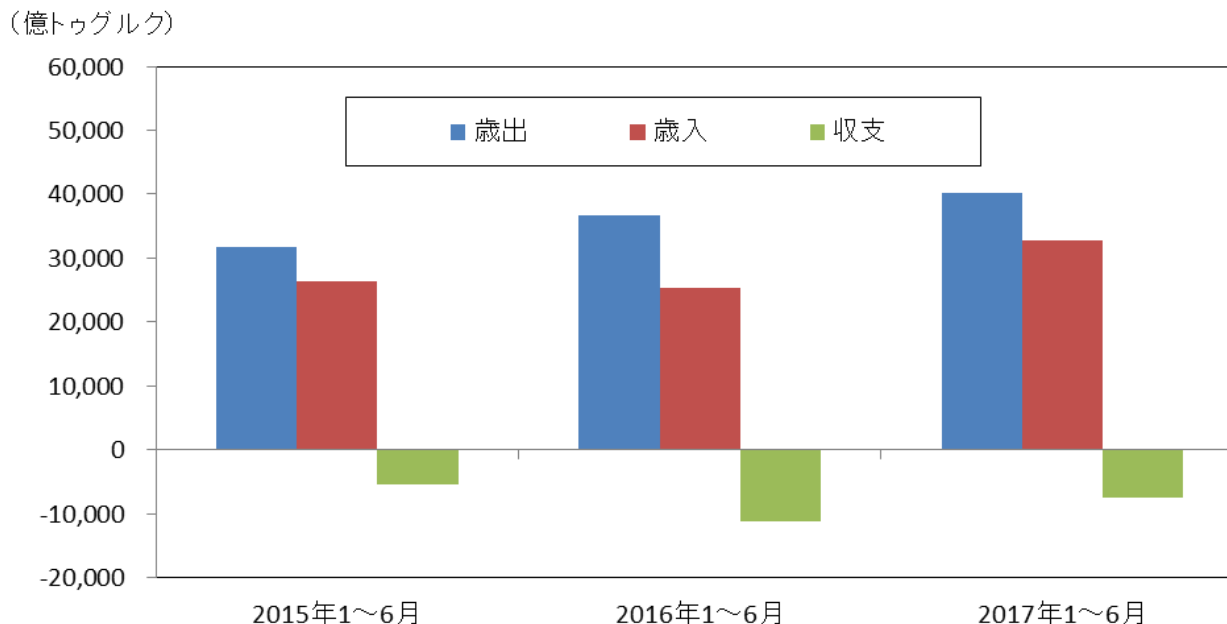


出所: 国家統計局

注: 前年末を100%とする指数

## 8.歳入・歳出伸び率の推移

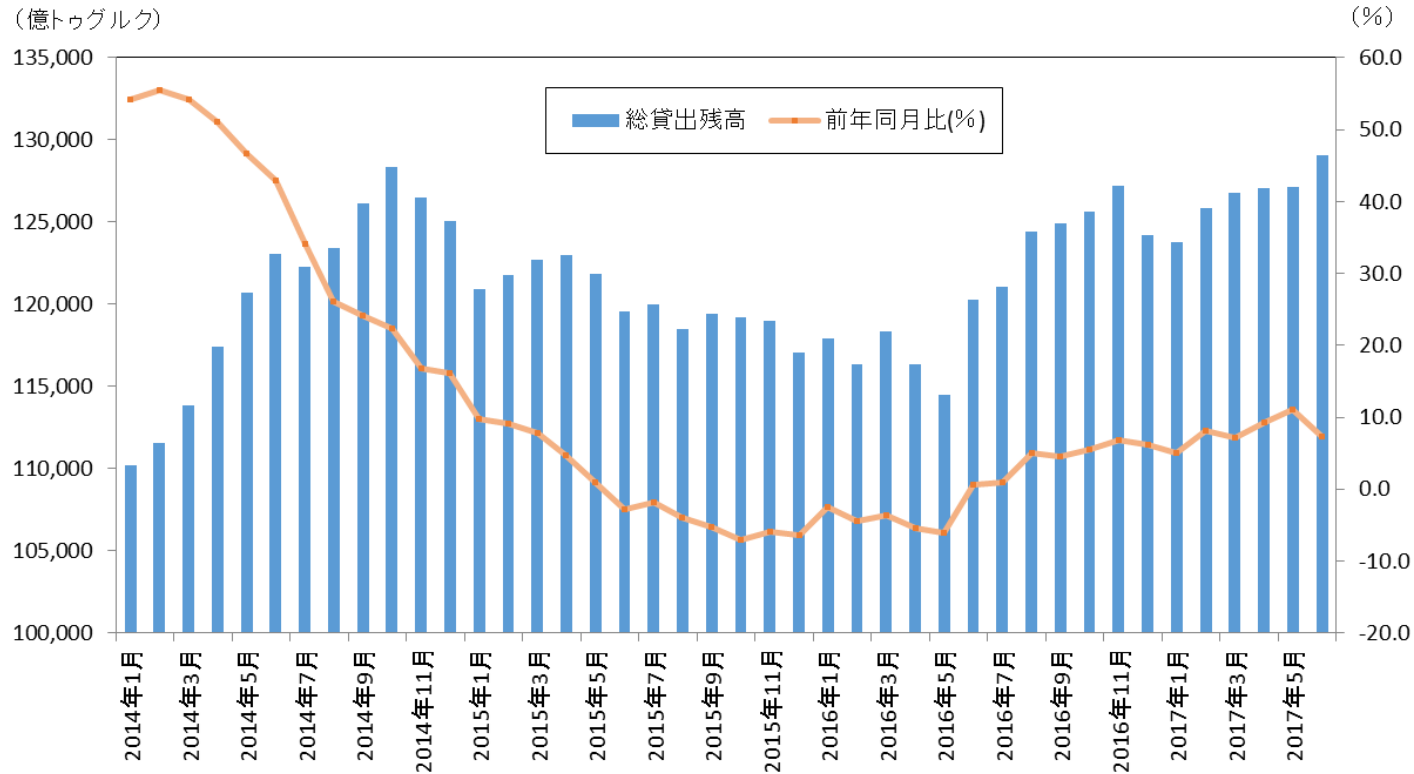
2017年1～6月には、歳出が9.6%増の4兆171億トウグルクで、歳入が前年同期比28.9%増の3兆2,765億トウグルク、予算収支は7,407億トウグルクの赤字(前年同期比3,832億トウグルクの赤字額縮小)となった。



注: 2017年1～6月は速報値  
出所: 国家統計局

# 9.貸出残高

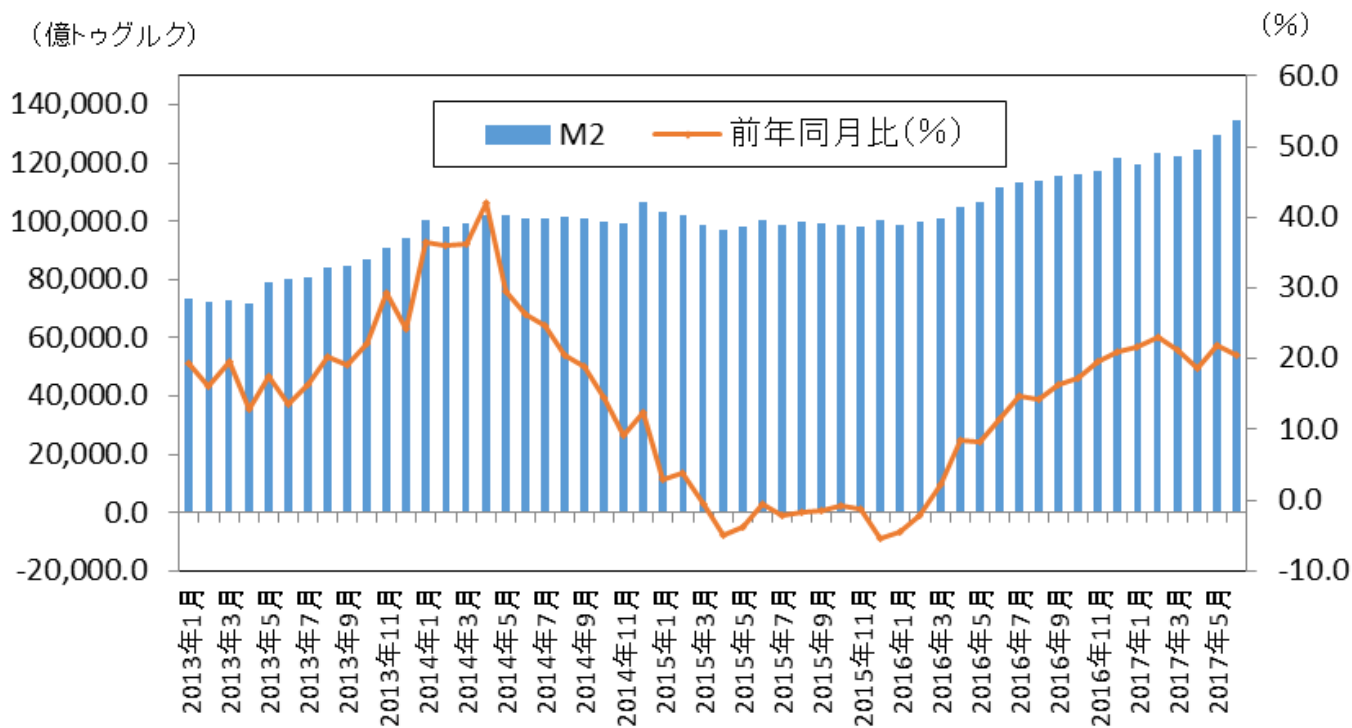
2017年6月末における総貸出残高は、前年同月比7.3%増の12兆9,031億トゥグルクだった。  
期限超過債権残高は前年同月比4.2%減の7,970億トゥグルクだった。



出所: モンゴル銀行

# 10.M2の推移

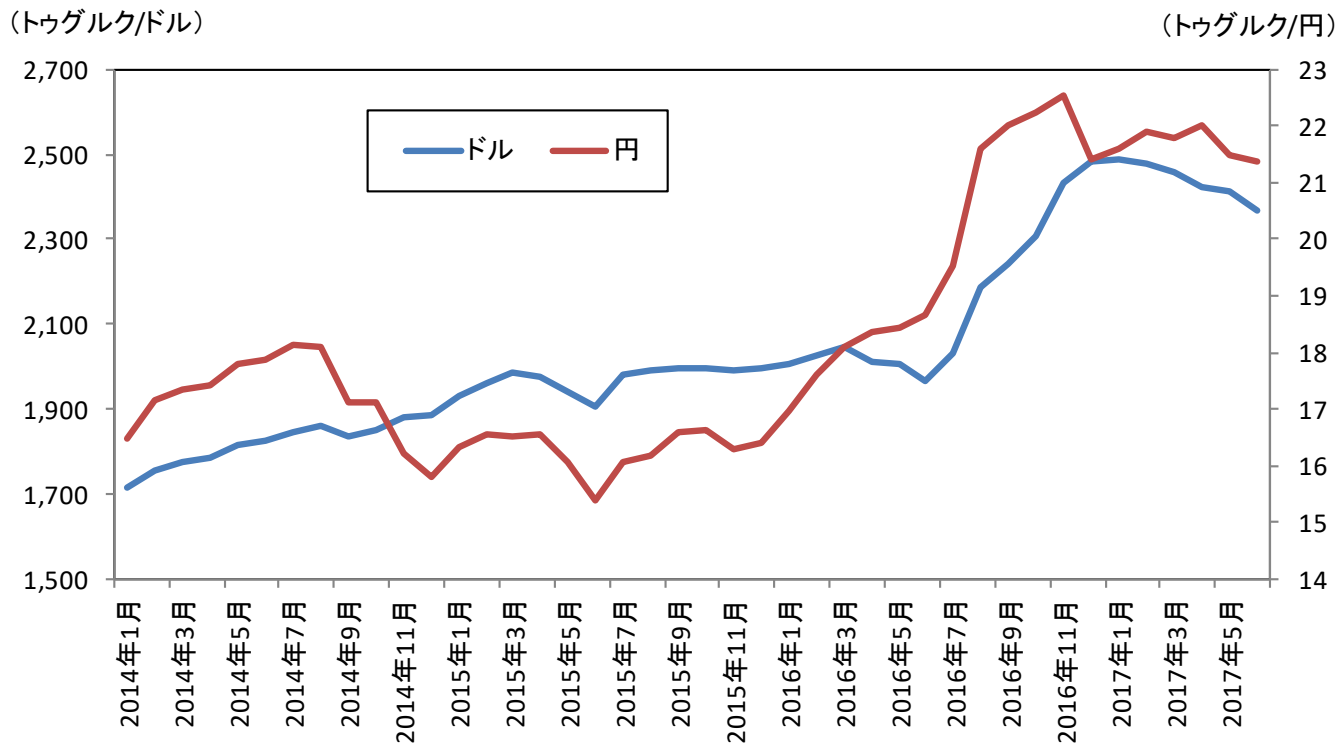
2017年6月末におけるマネーサプライ(M2)は、前年同期比20.5%増の13兆4,832億トゥグルクだった。M2は、前年同期比では、2016年2月に2.1%減少して以降、16カ月にわたってプラスの伸びとなっている。



出所: モンゴル銀行

# 11. 対ドル・対円の為替レート

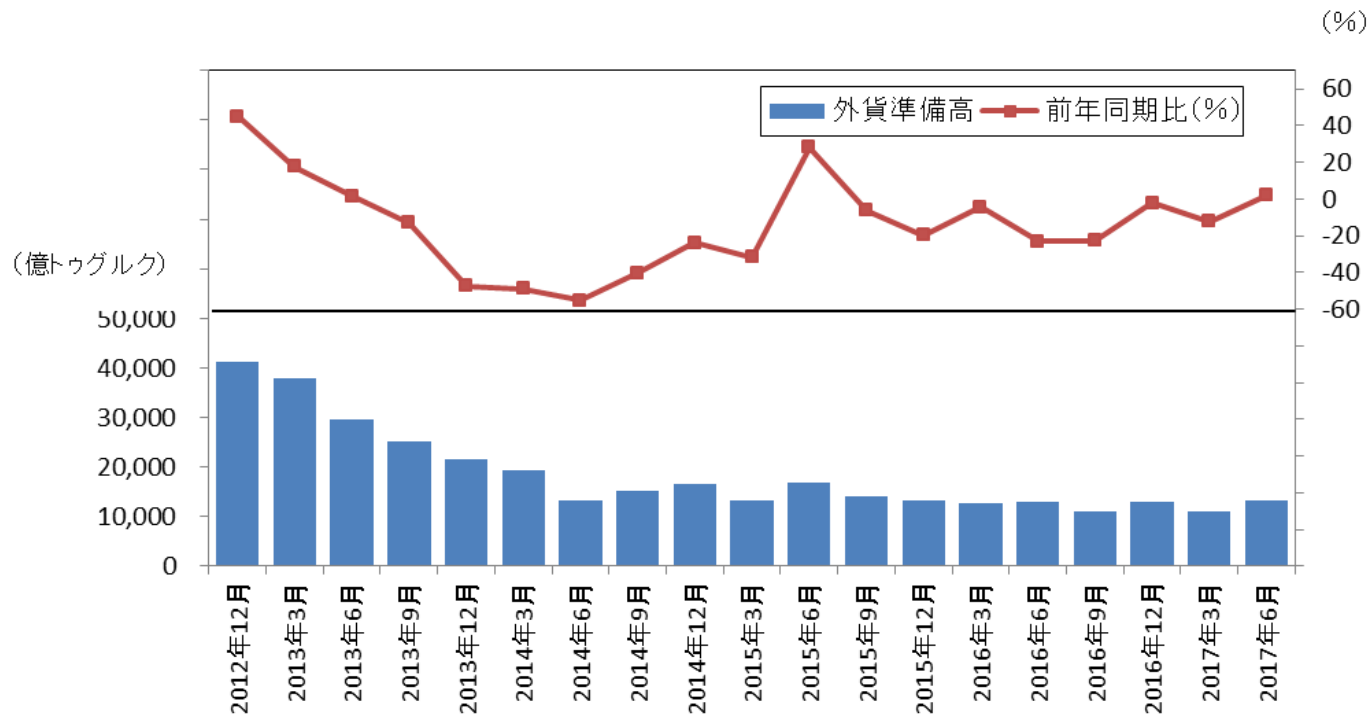
2017年1月には、1ドル2,488.38トウグルクのドル高となっていたが、2月以降ドル安傾向が続いている。



出所: モンゴル銀行

# 12.外貨準備高

2017年6月末時点におけるグロス外貨準備高は、前年同期比1.8%増の13億1,940万ドルとなった。



出所: モンゴル銀行



# 13. 主要輸出入品目

2017年1～6月の主要輸出品目のうち、石炭の輸出が前年同期比4.4倍と大きく増加した。輸出品目では、石炭のトラック輸送等の増加を背景にディーゼル燃料の輸入額が2.3倍と増加した。

(単位:100万ドル)

品目		2015年1～6月	2016年1～6月	2017年1～6月	前年同期比
輸出		2,370.2	2,192.5	3,105.8	41.7%
	鉱物	1,904.9	1,594.0	2,554.9	60.3%
	石炭	309.6	293.2	1,282.4	337.4%
	卑金属およびその製品	37.5	33.0	49.6	50.3%
	皮革および毛皮並びにこれらの製品	18.1	16.9	14.8	-12.4%
	生地およびその製品	167.5	175.6	208.8	18.9%
	石、人造石、貴金属および宝石	158.1	280.6	180.6	-35.6%
輸入		1,838.7	1,499.1	1,930.6	28.8%
	鉱物	440.7	290.0	438.2	51.1%
	ガソリン	133.1	82.8	113.0	36.5%
	ディーゼル	175.8	85.8	193.8	125.9%
	自動車およびその部品	202.5	195.6	291.9	49.2%
	機械器具、電気製品	362.7	307.5	406.6	32.2%
	食料品	154.7	139.5	166.4	19.3%

# 14.主要輸出相手国

2017年1～6月における主要輸出相手国のうち、輸出金額で1位の中国は石炭輸出の急増を受けて前年同期比56.6%増となり、構成比は90.3%(8.6ポイント拡大)となった。2位の英国は76.8%増で、構成比が7.1%となった。

国名	2015年1～6月		2016年1～6月		2017年1～6月		
	合計 (千ドル)	構成比 (%)	合計 (千ドル)	構成比 (%)	合計 (千ドル)	伸び率 (%)	構成比 (%)
合計	2,370,177.6	100.0	2,192,481.7	100.0	3,105,778.5	41.7	100.0
中国	2,046,179.3	86.3	1,790,573.3	81.7	2,803,611.3	56.6	90.3
英国	119,092.6	5.0	124,599.7	5.7	220,245.8	76.8	7.1
ロシア	45,115.5	1.9	25,065.9	1.1	27,138.5	8.3	0.9
イタリア	16,197.7	0.7	12,222.2	0.6	17,403.5	42.4	0.6
シンガポール	10,062.8	0.4	9,506.1	0.4	9,139.0	△ 3.9	0.3
ドイツ	7,025.4	0.3	37,859.7	1.7	5,727.6	△ 84.9	0.2
日本	2,502.5	0.1	4,803.0	0.2	4,652.3	△ 3.1	0.1
米国	3,874.0	0.2	6,239.0	0.3	3,263.5	△ 47.7	0.1
韓国	41,798.7	1.8	2,123.6	0.1	2,119.5	△ 0.2	0.1
フランス	2,094.7	0.1	3,179.8	0.1	2,090.3	△ 34.3	0.1
アラブ首長国連邦	11,720.1	0.5	2,323.2	0.1	1,679.8	△ 27.7	0.1
その他	64,514.3	2.7	173,986.3	8.0	8,707.3	△ 95.0	0.1

注：2017年1～6月は速報値

出所：国家統計局

# 15.主要輸入相手国

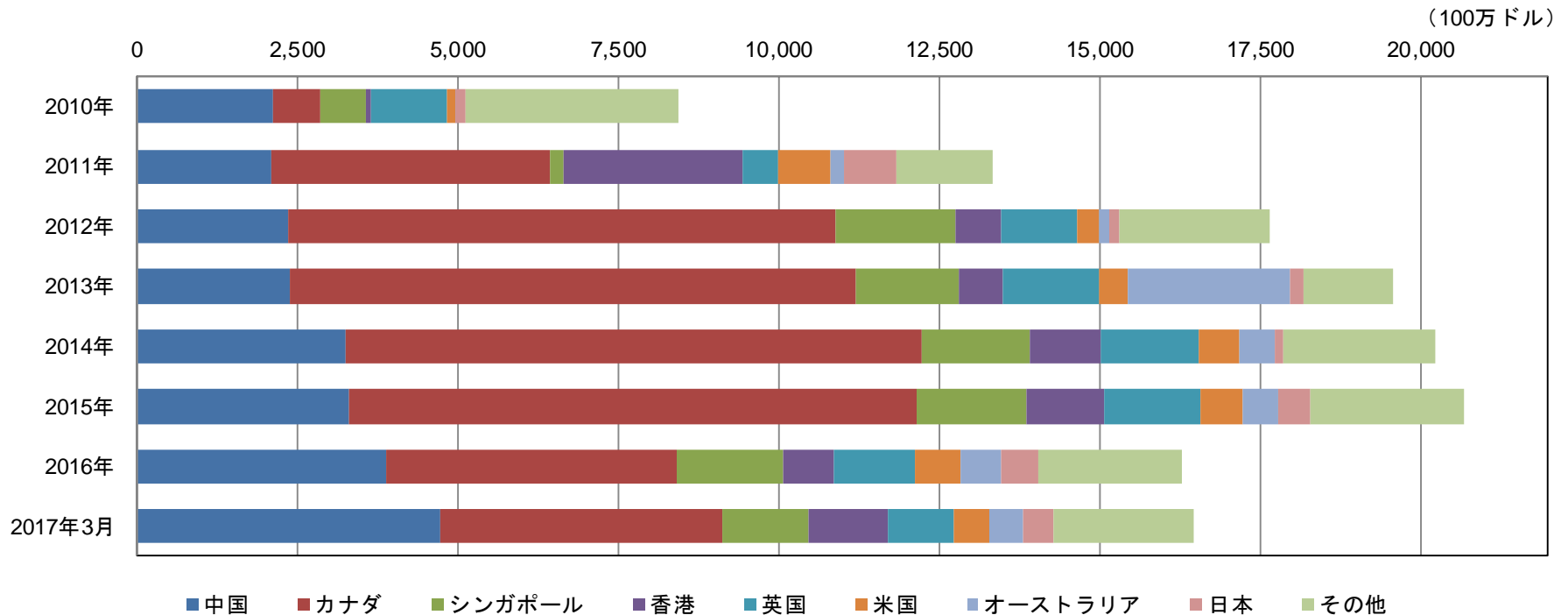
2017年1～6月における主要輸入相手国のうち、第5位までの中国、ロシア、日本、米国、韓国の5カ国で総額の74.6%を占めた。これらのうち、米国からの輸入額が前年同期比55.9%増ともっとも伸びが大きかった。日本は37.6%増で構成比は10.1%だった。

国名	2015年1～6月		2016年1～6月		2017年1～6月		
	合計 (千ドル)	構成比	合計 (千ドル)	構成比	合計 (千ドル)	伸び率 (%)	構成比
合計	1,838,720.3	100.0	1,499,135.4	100.0	1,930,619.1	28.8	100.0
中国	667,300.2	36.3	506,108.8	33.8	612,767.1	21.1	31.7
ロシア	480,133.0	26.1	364,827.0	24.3	532,184.4	45.9	27.6
日本	151,764.8	8.3	142,342.2	9.5	195,933.4	37.6	10.1
米国	58,020.1	3.2	64,013.2	4.3	99,781.0	55.9	5.2
韓国	143,975.0	7.8	97,912.2	6.5	92,040.8	△ 6.0	4.8
ドイツ	63,113.8	3.4	55,303.2	3.7	58,341.6	5.5	3.0
ポーランド	17,256.0	0.9	15,742.7	1.1	22,499.3	42.9	1.2
イタリア	12,986.6	0.7	14,789.5	1.0	21,918.4	48.2	1.1
ベトナム	13,568.4	0.7	17,954.4	1.2	17,625.2	△ 1.8	0.9
マレーシア	19,812.6	1.1	18,833.8	1.3	17,306.4	△ 8.1	0.9
カザフスタン	12,628.1	0.7	14,507.8	1.0	16,797.0	15.8	0.9
ベラルーシ	6,845.9	0.4	10,116.8	0.7	15,109.6	49.4	0.8
オーストラリア	5,362.4	0.3	8,030.1	0.5	14,996.6	86.8	0.8
トルコ	15,982.7	0.9	11,764.1	0.8	13,815.0	17.4	0.7
スウェーデン	6,481.3	0.4	4,050.6	0.3	13,701.7	238.3	0.7
その他	163,489.3	8.8	152,839.1	10.0	185,801.6	21.6	9.6

注：2017年1～6月は速報値  
出所：国家統計局

# 16.主要国・直接投資残高

2017年3月末の直接投資残高は、2016年12月末比1.19%増の164億7,197万ドル。主要国別では、中国、カナダ、シンガポール、香港、英国の5カ国・地域からの直接投資が約127億ドルで、全体の77.22%を占めている。



出所：モンゴル銀行

# 17.主要国・地域別投資企業数

モンゴル政府・投資局によると、2015年8月現在の主要国・地域別の直接投資企業数は、合計1万3,326社。このうち、中国が6,549社、全体の約5割を占めて最大。次いで韓国(2,333社)、ロシア(860社)、**日本(557社)**、米国(305社)等の順となっている。

なお、外務省が実施している海外在留邦人数調査統計(平成29年版(2016年10月))によると、日本企業の支店開設数:支店1社、駐在員事務所53社、現地法人化した企業等数:329社であった。

# 18.主要業種別投資企業数

2015年8月現在、主要業種別の直接投資企業数の構成は、貿易・レストランが9,312社で全体の7割を占める。このほか、鉱業(416社)、エンジニア施設・建築材料生産(399社)、観光(318社)、軽工業(190社)、食料品生産(182社)、家畜産業の原料加工業(158社)、輸送(134社)、通信(110社)等となっている。

# 19. 日系企業進出事例

社名: モンゴルミクロンカシミアグループ  
(MONGOL MICRON CASHMERE GROUP)

創業: 1995年1月

設立: 2005年1月4日

事業内容: カシミア加工工場の運営および製品の販売、ホテル、レストラン、ポラリスデパートメント、日本製品の輸出入、卸売・販売 鉱業並びに緑化・造林、建設、施設管理並びに不動産物件の賃貸 家畜原材料調達

資本金: 25億円

従業員: 195名(2017年4月現在)

2017年7月、高品質のカシミア製品を開発してきたモンゴルミクロンカシミアグループは、アコールグループのデザイン・エコノミーをコンセプトとする国際ホテルチェーンIBIS Styleをウランバートル市で開業した。

ハンウール地区に立地し、4つ星ホテルの中ではチンギス・ハーン空港へのアクセスがもっとも近いホテルとなる。ホテル整備に当たって、施設内の材料や家具は全て日本から輸入しており、その品質が好評を受けているという。

出所: モンゴルミクロンカシミアグループへのヒアリング



写真出所: モンゴルミクロンカシミアグループ

## 20. モンゴル企業の動向事例①

企業名: ナベヤモンゴル

事業内容: 貿易

設立: 2014年

輸入品目: 千葉産のコシヒカリ、しろいの梨

従業員数: 8名(2017年8月現在)

米をはじめとする食品輸入を手掛けるナベヤモンゴルがチャツアルガンモチーフにしたクッキーの生産・輸出に挑戦する。

世界の「チャツアルガン」の90%がモンゴル国で生産されているが、その内の70%がオブス県で生産されており、「チャツアルガン」の主要生産地と言われている。

ウランゴムクッキーは、オブス県にあるウランゴムで生産されている、「チャツアルガン」が入ったクッキーとして日本人観光客向けに初めて作られたもので、特徴は、チャツアルガン入りでサクサク感のあるプレーン味に仕上げている点である。

日本人によるプロデュースを行い、クッキー、デザイン、パッケージ等をウランバートルにあるモンゴル企業が製品化した。

出所: ナベヤモンゴルへのヒアリング



写真出所: ナベヤモンゴル

## 20. モンゴル企業の動向事例②

企業名: Mongolian Mining Corporation (“MMC”, SEHK Stock Code: 975)、エナジー・リソース社

産業分野: 石炭採掘

創業: 2009年

香港証券取引所IPO: 2010年

地下資源:

ウハー・フダグ鉱山(2,960ヘクタール、埋蔵量: 680Mt(100万トン)、切込み炭226 Mt)

バルーン・ナラン鉱山(4482ヘクタール、埋蔵量: 330Mt、切込み炭165 Mt)

ツァイバル・フダグ鉱山(8,340ヘクタール、埋蔵量: 70 Mt)

所在地: オムヌゴビ県(UBから560キロ、モンゴルと中国の国境から240キロ)

MMCは、モンゴル初、世界で最大級の洗炭工場の一つをもつ石炭採掘会社。2009年に創業して間もない2010年に香港にてIPO。その後、資源価格の下落等で苦難したが、市場の復活を受けて2017年1～6月において売上高691.7%増を発表した。

2017年1～6月における事業成績(カッコ内は成長率):

生産量: 4.2Mt(359.2%)

加工生産量: 3.9Mt(284.2%)

洗炭量: 2.0 Mt (289.9%)

売上量: 2.3Mt (292.7%)

売上高 2億4,590万ドル (691.7%)

利益: 1億1,060万ドル(前年同期には、3,360万ドルの赤字)

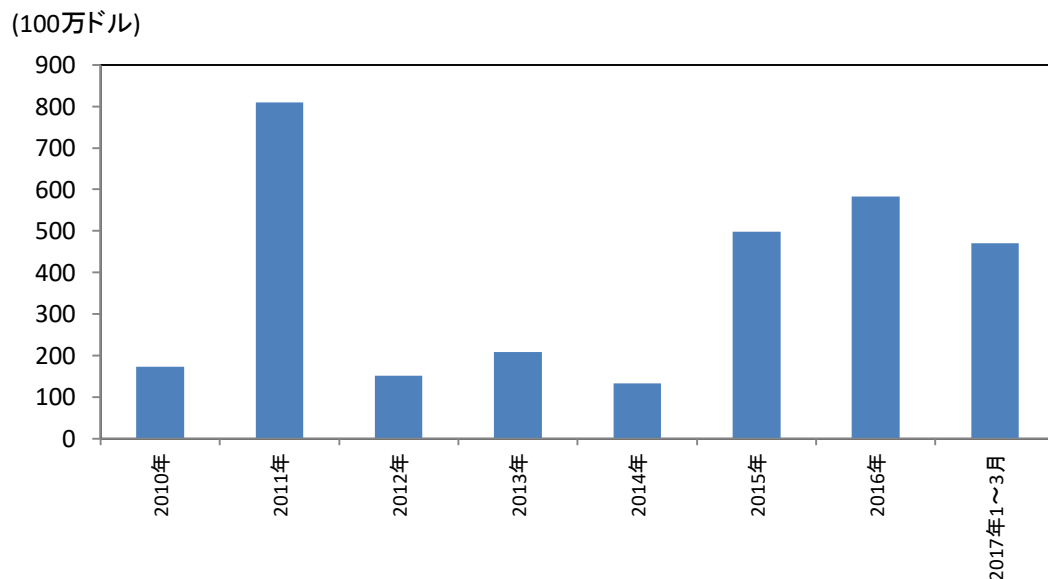
配当可能な利益: 3億1,170万トゥグルク(前年同期には、6,170万ドルの赤字)

[出所: MMCホームページ](#)



# 21. 日本からの直接投資

2017年3月末における日本からの直接投資は、4億7,033万ドルとなった。日本からの主要企業は、通信、銀行、製造、鉱業、鉱山機械・建設機械の販売、建設やエネルギーなどの分野となっている。



出所: モンゴル銀行

## 主要投資企業名(順不同)

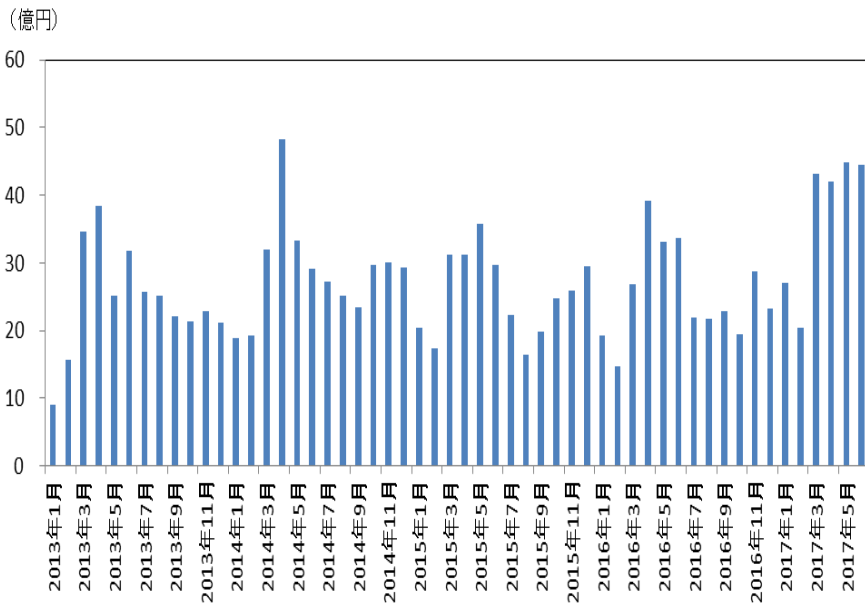
KDDI  
澤田ホールディング  
賛光精機  
丸紅  
双日  
三菱商事  
住友商事  
スルガコーポレーション  
会沢高圧コンクリート  
ネクサス  
旭栄工務、  
いずみガーデン  
東海運  
SBエナジー  
KPMGあずさ監査法人  
サイサン  
日産自動車  
オリックス

出所: [日本モンゴル貿易投資データブック2013](#)

# 22. 日本との貿易概況

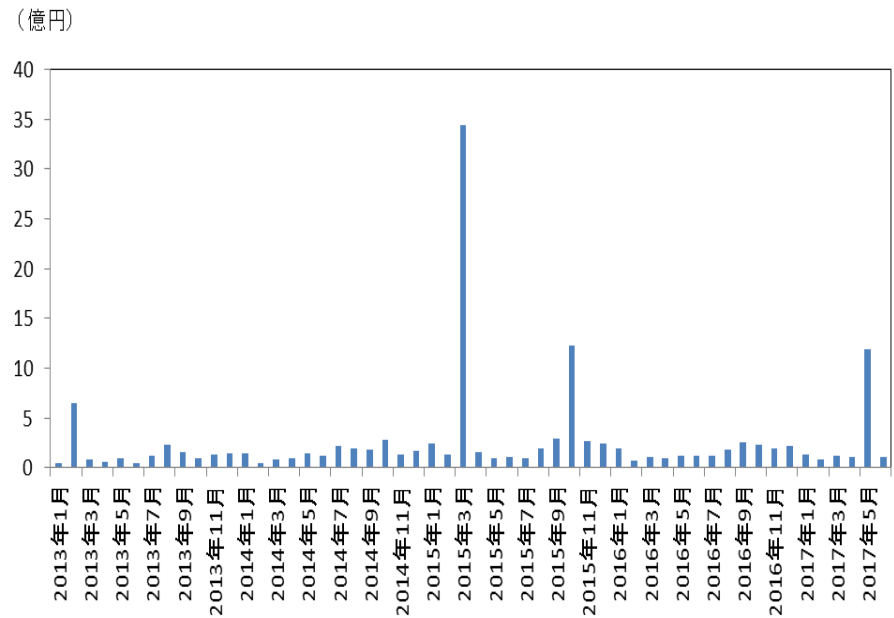
貿易額について日本側の統計をみると、2017年1～6月の輸出は前年同期比33.1%増、輸入は2.4倍となった。

## 日本からの輸出額



出所: 財務省貿易統計(日本)

## モンゴルからの輸入額



出所: 財務省貿易統計(日本)

レポートをご覧いただいた後、アンケート(所要時間:約1分)にご協力ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ora2/20170071>

本レポートに関する問い合わせ先：  
日本貿易振興機構（ジェトロ）  
海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32  
TEL : 03-3582-5181  
E-mail : ORG@jetro.go.jp

**禁無断転載**